

合格体験記

令和4年度 ライブ講座 (Y.K 男 28 歳)

1, はじめに

令和4年度の中小企業診断士試験で合格することが出来ました。思えば、「社会人で何か新しいことを学んでみたい!」と軽い考えで始め、思いがけず勉強にのめり込み、運も重なって試験に合格できたことは幸運でした。ささやかではございますが、私の体験記が皆様のお役に立てば幸いです。

<受験歴>

2020年 1次試験 科目合格(経済学のみ)

2021年 1次試験合格 2次試験不合格(ACCB)

2022年 2次試験合格(BAAB)

2, 私の勉強スタイル

試験を通じて最も大切に感じたことは、「いかに勉強ルーティンを確立し、継続的に勉強を続けていくか(特に時間がない平日)」です。基本的には1次、2次の勉強期間を通じて以下のサイクルを続けました。家で勉強できないタイプであった為、出来るだけ外で勉強時間を稼ぐ点に留意しました。

(平日) 目標勉強時間：2 hour

AM：会社最寄りの日本橋駅に「7:00 着」を目標に到着。カフェでモーニングを食べつつ、1時間弱勉強。(あまり朝から張りきると仕事に支障がでるので、ほどほどにする)

PM：仕事終了後、そのまま日本橋周辺のカフェに直行。約1時間勉強し、帰宅。

帰宅後、(余裕があったら)追加で暗記系を15~30分ほど復習。

(土曜日) 目標勉強時間：6hour

AM~夕方：MMC 授業。そのままカフェに向かい、直後に復習を行う。

(水道橋/内海教室の時は神楽坂までお散歩をし、お気に入りのカフェを探しました。)

(日曜日) 目標勉強時間：5hour

AM：家近くの最寄りのカフェでモーニングを食べながら1~1.5時間勉強。

PM：図書館に向かい約3時間勉強。帰宅後、余裕度に応じて再度暗記系を復習。

3, やってよかった勉強法

基本的にはMMC教材と過去問以外は手を出しませんでした。MMCの復習は勿論ですが、それに加えて特に効果的であったと感じる学習法を記載します。

✓ 財務集中ゼミ(アカウントゼミ,ファイナンスゼミ)

春先に MMC で開催された財務集中講座です。授業内で各頻出設問別の解法方法(ex 経営分析,CVP,NPV)が役立つのは勿論ですが、それ以上に価値があるのは「問題集」が手に入ることだと思います。私はこの問題集を最低 毎日 1 問ずつ(計 2.5 周 ※0.5 は苦手な問題だけ)を行いました。

✓ 基本知識確認テスト(事例 I~III)

MMC お馴染みのマトリックス表に加え、「解答ワードの幅を広げる」イメージで眺めていました。一方で、基本的にはマトリックス表がベースになると思うので、ある程度マトリックス表のキーワードが身につけてから(後期授業開始頃)で始めたのが逆に良かったと思います。内容もそれなりにあるので、重要だと思う箇所のみ何周もしました。

✓ 過去問 演習

かなり重点的に行いました。I~IIIは約 8 年分を 2 周程、IVは約 10 年分を 2.5 周程しました。個人的に MMC の解答の型及びキーワードを「過去問仕様に仕上げていく」プロセスに障害を感じていたため、MMC の模範解答に自分の答案を近づけていくことをイメージ付けました。

後期においては上述の「財務集中ゼミ」の 1 日 1 問と並行して、「事例IVの全知識&全ノウハウ」に取り組みました。過去問の良問が 1 題ずつの形式でまとまっていたので、取り組みやすかったです。

4, MMC での 1 年間の勉強プロセス

<前期(1 月~3 月)>

✓ MMC メソッド(キーワードと型)を知る

まずは MMC メソッドの根幹である「解答の型」と「キーワード」のノウハウを学びました。授業内での事例問題は比較的解きやすい問題が多いため、まずはこの 2 つのノウハウがどのように模範解答に落としこまれているのかを掴んでいきました。始めはキーワードや型自体は記憶せずに見ながらでも OK だと思います。

✓ 財務集中ゼミ(アカウントゼミ,ファイナンスゼミ)

このタイミングでファイナンス,アカウントゼミを受講しました。事例IVについてはなるべく早い段階で、事例ごとのお馴染みの解法(ex NPV の場合、簡易 PL と CF 計算書の作成で解く方法)を身に着けていくべきだと思うので、この時期は量よりも質で一つずつ丁寧に理解していくようにしました。

✓ 個人的には、第 1 回の模試の出来があまりよくなく(平均点以下)、落ち込んだのを覚えています。分析してみると事例IVの計算ミスが響いており、上述のお馴染みの解法を身に着ける大切さを身に染みて感じました。

<中期(4 月~7 月)>

✓ I~III: キーワード及び型の習得

MMC のメソッドを使いこなせるように鍛錬を積む時期かと思います。問題を繰り返していく中でキーワードや型も自然と暗記し、比較的解きやすい MMC の事例問題ではある程度、模範解答に自分の解答が近づいてきているのを感じました。

✓ IV：様々な問題に触れる

問題を多くこなし、お馴染みの解法を身に着けていく時期かと思います。最低 1 日 1 題、オプション財務での問題を解くことをルーティンにしていました。

一方、点数がなかなか安定せず苦勞していました。7 月中旬のファイナル財務では 6 題の内、80 点台:2 回, 60 点台:1 回, 50 点台:2 回, 30 点台:1 回とかなりバラツキがありました。

✓ 過去問演習

中期の後半からは過去問に手を付け始めました。授業のない日に図書館に籠り、一日で、I, II, III の内 2 題、IV を 1 題で計 3 題を解くのがルーティンでした。

✓ 中期終わりでの課題の明確化

中期終わりの時期で以下の 3 点が主に課題と考えていました。これ以降はこの 3 点をいかに克服するかを意識しながら取り組みました。

- ① MMC メソッドをどのように I ~ III 過去問答案に適用をさせていくか。
- ② 80 分×4 事例を 1 日で集中して解き切る体力。
- ③ 事例 IV の点数の安定化。

<後期(8月~9月)>

✓ 演習を積む

MMC での事例問題演習、及び過去問をひたすら解いていく時期です。中期までには過去問を 1 周をしていたので、この時期からは 2 周目をしていました。

事例 IV の 1 日 1 題は続けていましたが、より本番に近い問題に取り組みたいと思い、「事例 IV の全知識 & 全ノウハウ」を 1 問ずつ解くことに重点を置きました。

✓ 基本知識確認テスト

知識の補充として、基本知識確認テストにこの時期から取り組み始めました。上述の通り、全て取り組むのではなく、キーワードとして使えそうな箇所に絞って何度も繰り返していました。

<直前期(10月)>

✓ 過去問演習及びファイナルペーパー作成

過去問演習を行いました。その際は新年度分には手を付けないことを心がけました。直前期は特に苦手年度の事例 IV の 3 回目の取り組みに力点を置いていました。

ファイナルペーパー作りを始めたのもここからです。マトリックス表や基本知識確認テストのキーワードをまとめることに加え、各事例を解くときに意識すべきポイント(ex 事例 III では、第一問の強みを第四問の戦略に活かす)などを文字化して、本番に意識できるようにしました。

4, 終わりに

「試験終了の最後の1秒まで諦めないこと」が本当に大切だと思います。私自身、本番での得点は242点とギリギリでしたが、難問であった事例IVで、最後の一寸まで埋めきったことが合否を分けたと思います。

一年間 MMC の先生方にはお世話になり、本当にありがとうございました。